



明久



教訓私伝育

四之巻



目録

第一 風呂屋の風呂場おんまの質しつお堀ほり

湯ゆ垢か乃のここ出でけけぬぬめめすすのの

肉にく俵はたけ糲もちかかををこころろききふふおおののほほく

運うひひ船ふね卒そつ知ち子こ石いしににゆゆりり新しん子ご



才二 又物をたむかひの研をたむかひのまひ

磁石山の真夢りしとよはあそ

辰乃あやしく出でてふかきね

鉄氣のわけがらやこころあや合

才三 中伏は祈禱といふる身乃妨

役の若の心をもよそこころひ

信をよよりくそはあや

先を乃院号水もたえんげく

一 風呂屋の風呂屋ひいせれ付の垢

風呂屋のその身は垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

人よ垢をたまりそ。その身は垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

熱どやう風呂屋といふ前をたまりそ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

にも用ひるやうくあそまり。夜の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

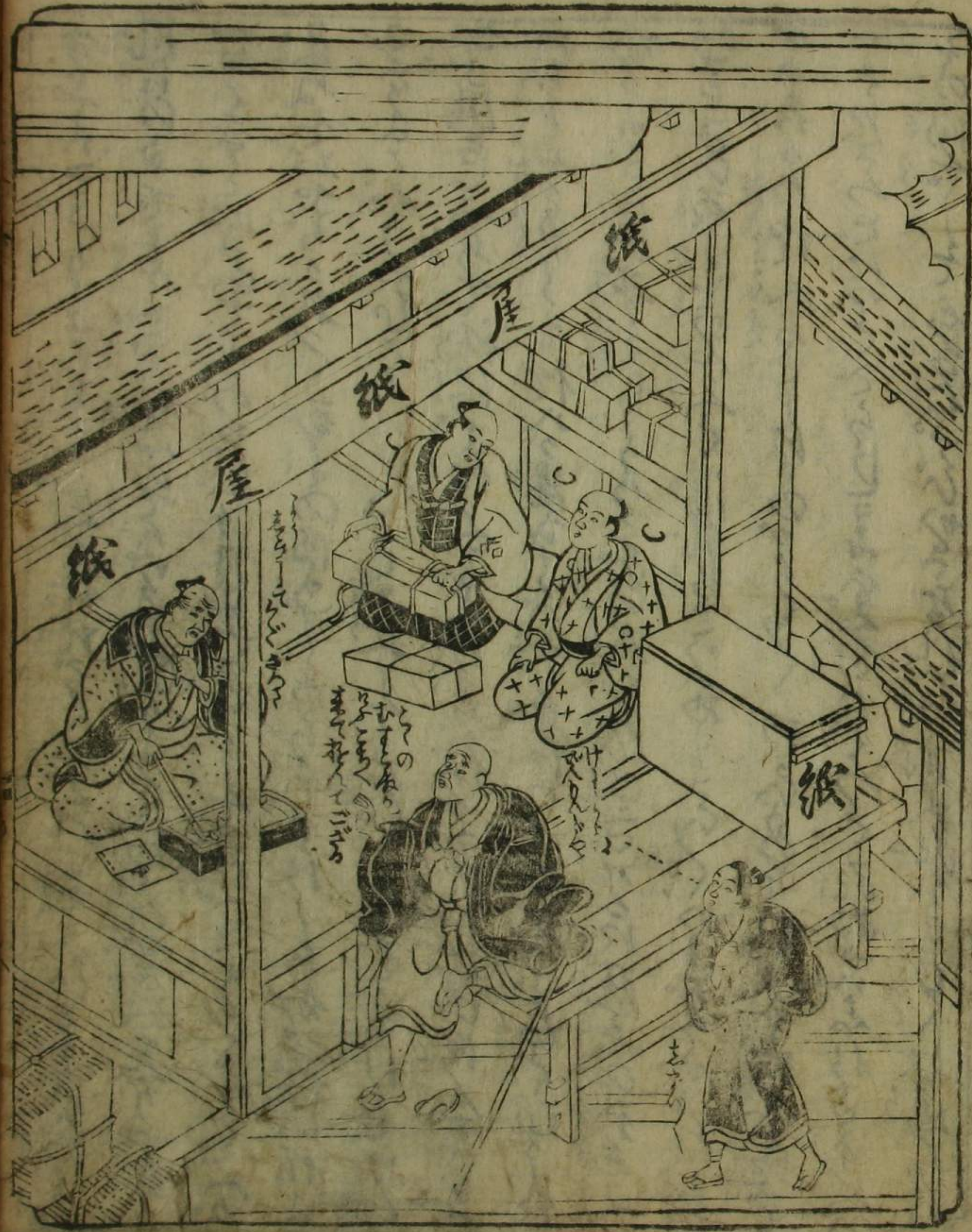
るるる。そらりりして垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

一日もあやしくなまぬの物なほも。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

よりあつる湯をよびつくりし。息もあやしくなまぬ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

と。あまざるよあやしくなまぬ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。

あやしくなまぬ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。人の垢をたまりそ。



あつていこつりまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
風がのまじりていふはまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
一日のまじりていふはまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
まねをぢぢらぢらくるまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
まよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
か風がとてつはまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
いぢとまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
ゆりまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
むまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
てまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
一まよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
まよひのちんが地ごのこれいよびを中はか

こつていふはまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
いぢとまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
ゆりまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
むまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
てまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
一まよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
まよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
こつていふはまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
いぢとまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
ゆりまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
むまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
てまよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
一まよひのちんが地ごのこれいよびを中はか
まよひのちんが地ごのこれいよびを中はか



さういふと信教してはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
さういふと信教してはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
先程でもゆりてさういふと凡そ引も上界にあらざりて
痛むと云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
その高の極と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
て是れはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
とてさういふと凡そ引も上界にあらざりて
その内も高より業のゆり小余と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
乃信と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
余がたとひはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
西の醫者と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
まをく加納めれと云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて

おののづから友人と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
此をりてさういふと凡そ引も上界にあらざりて
凡そ引も上界にあらざりて
大威徳の法を修せんと云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
で行儀と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
いふと云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
事と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
それよりさういふと凡そ引も上界にあらざりて
目録と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
井ノ原と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて
毎年より一冊と云ふはさういふと凡そ引も上界にあらざりて

つかりにきりかきしつゝのせつらつとていふものあらばしてあらざれば
 うそつまねんぞんくならんかきまはすのほねせんは
 是れおよび縁教さうくごめいもそれゆゑとて人相も
 かんぢり人を素よりゆゑなくづくのうらやけいめいぞんぞん
 ばかんせんたうしつゝのつがはし。ゆゑもあつてもいふつゝ
 いふつゝ男まゝねんかつてはShonもなかく中れにけぞつて殺
 身とていひつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝ
 美悟たしつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝ
 いかんかゝるまゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝ
 おゝもつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝ
 中下男とていふつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝのつゝ

口之巻終

煉羊義

三

煉羊義

